

TDK BS・CSアンテナ 衛星方向早わかり方位盤(関東版)

この方位盤は、太陽の位置から衛星の方向を知るための衛星方向早わかり方位盤です。
下記の取扱方法をご覧になって、衛星放送アンテナの方位角調整時にご活用下さい。
本方位盤で方向がわかる衛星は東経110度のBS衛星と110度CS衛星です。

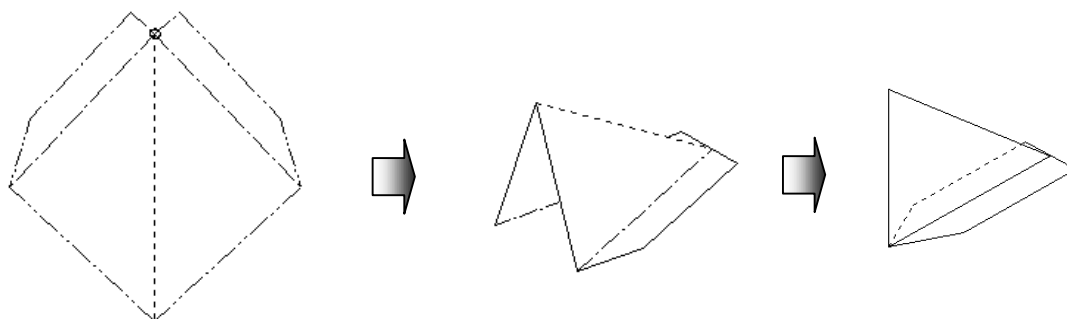
1. 本方位盤の適用地域

関東地域：栃木、群馬、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨

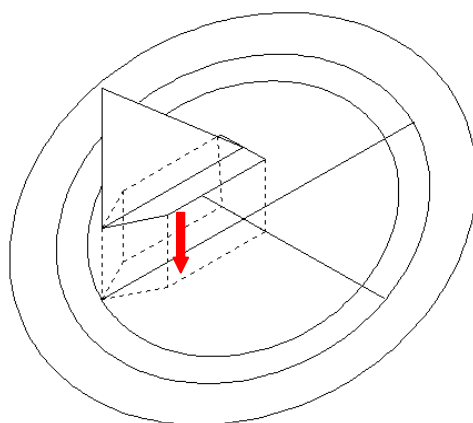
2. 組立方法

①3ページの「方位盤」「三角支柱」を二点鎖線 ----- 部分から切り取ります。

②三角支柱を下図のように折り、山折りで折り重なった部分をのりづけします。



③方位盤の点線部分の形状に合わせて、折り込んだ三角支柱をのりづけします。



のりづけした三角支柱が方位盤に対して直角になっているか確かめてください。

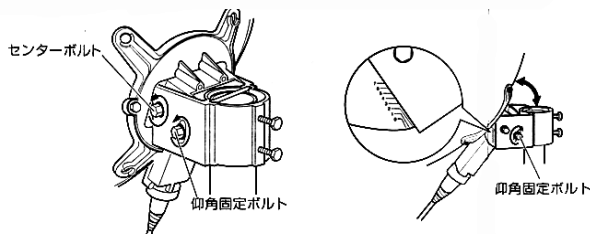
3. アンテナの方向調整

作成した方位盤をもちいてアンテナの方向調整を行います。

アンテナの取扱説明書「アンテナの調整」を見ながら、行ってください。

①アンテナの仰角を下記表にしたがって、アンテナの仰角目盛にセットして仮止めします。

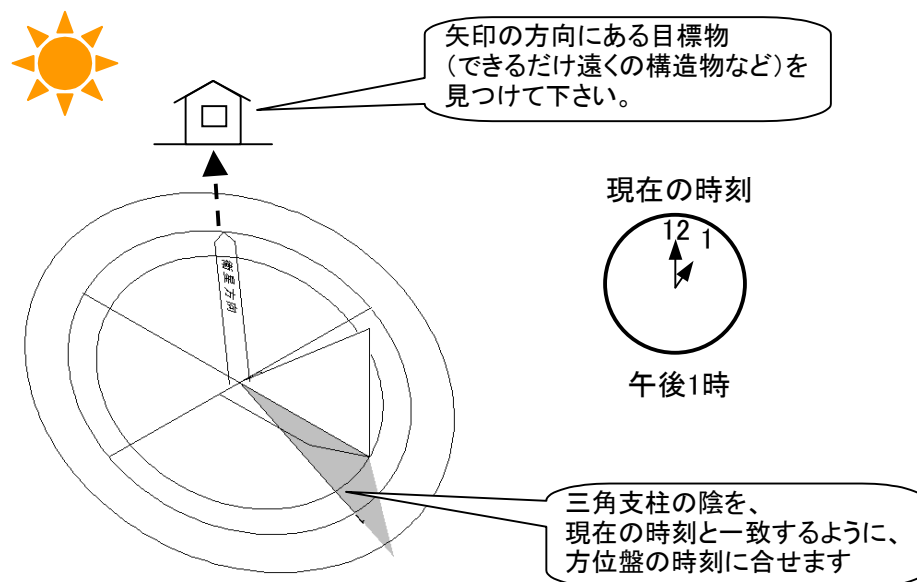
都道府県名	BS 方位角	仰角	アンテナ 仰角目盛
栃木	224.0	37.3	2と3の間
群馬	223.1	37.9	2と3の間
茨城	224.8	37.1	2と3の間
埼玉	224.2	38.0	2と3の間
千葉	224.9	37.9	2と3の間
東京	224.4	38.0	2と3の間
神奈川	224.5	38.3	2と3の間
山梨	223.1	38.8	2と3の間



【ご注意】

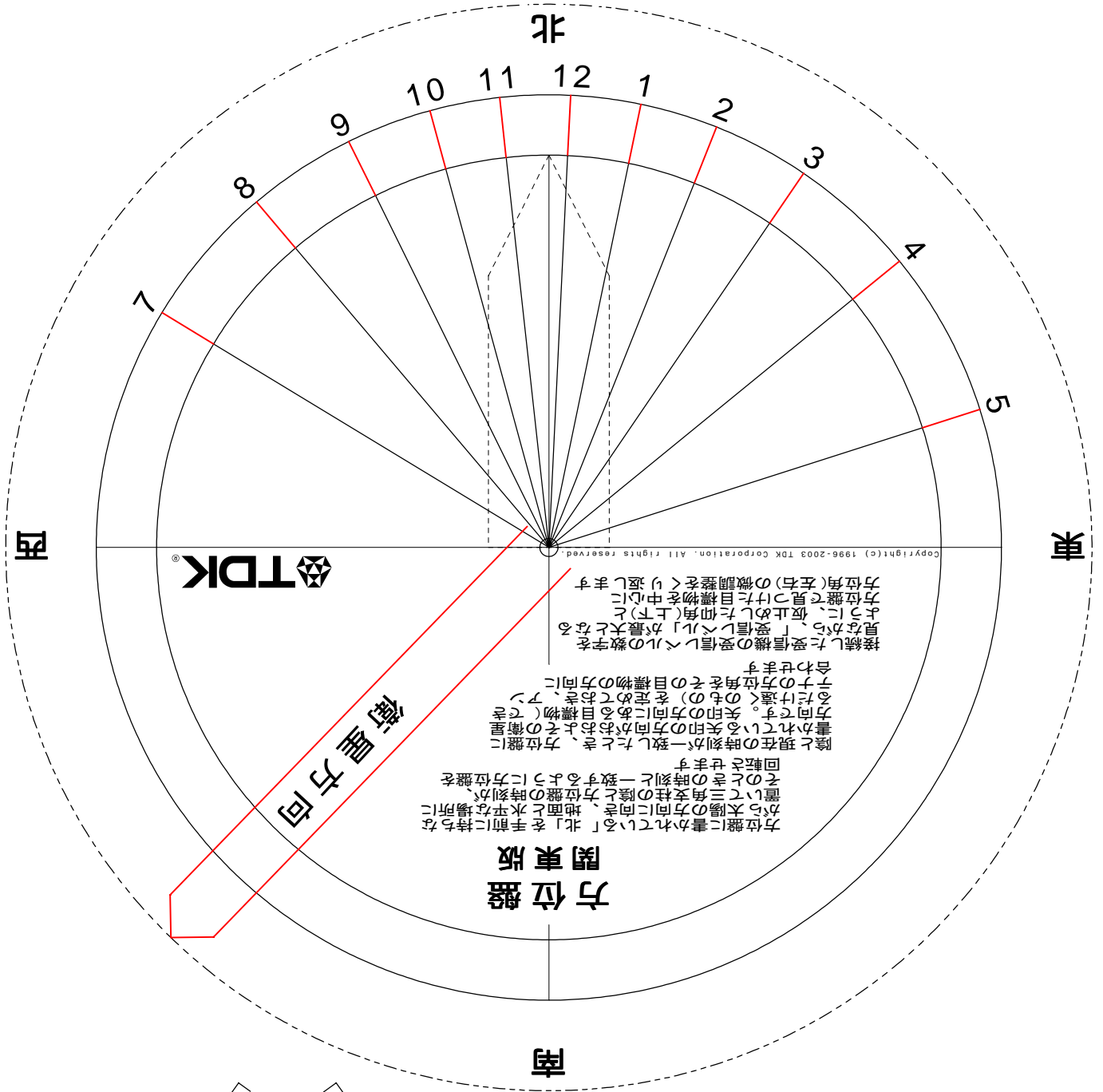
取付金具の状態によっては、表の値と誤差が生じる場合があります。その場合は、1目盛分プラスするかマイナスして調整してください。

②完成した方位盤に書かれている「北」を手前に持ちながら太陽の方向に向き、地面と水平な場所に置いて三角支柱の陰と方位盤の時刻が、そのときの時刻と一致するように方位盤を回転させます。



③陰と現在の時刻が一致したとき、方位盤に書かれている矢印の方向がおおよその衛星方向です。矢印の方向にある目標物(できるだけ遠くのものを)を定めておき、アンテナの方位角をその目標物の方向に合わせます。

④接続した受信機の受信レベルの数字を見ながら、「受信レベル」が最大となるように、仮止めした仰角(上下)と方位盤で見つけた目標物を中心に方位角(左右)の微調整をくり返します。



方位盤に書かれている「北」を手に持ち、地面と水平な場所から太陽の方向に向き、方位盤の時刻が、書いて三角支柱の陰と方位盤の時刻が一致するとき、方位盤を回転させます。そのときの時刻と一致するように方位盤を回らせます。

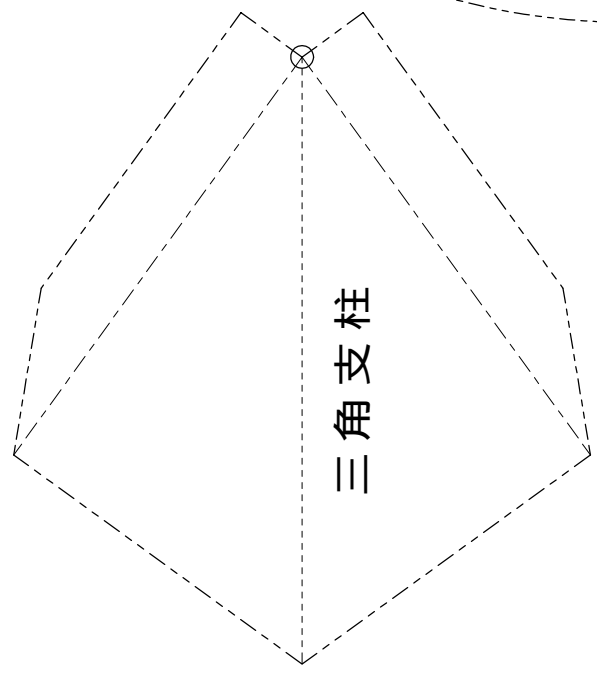
陰と現在の時刻が一致したとき、方位盤に書かれている矢印の方向が、その衛星方向です。矢印の方向にある目標物（できるだけ遠くのもの）を定め、その方位角をその目標物の方向に合わせてみます。

接続した受信機の受信レベルの数字を見ながら、「受信レベル」が最大となるように、仮止めた仰角（上下）と方位盤で見つけた目標物を中心に方位角（左右）の微調整をくり返します。

Copyright (c) 1996-2003 TDK Corporation. All rights reserved.

**方位盤
関東版**

衛星方向



三角支柱

- きりとり線
- 山折り
- 谷折り